



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
1983

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 中村 哲朗
幹 事 森信 秀樹

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
「ロータリーの未来は
あなたの手の中に」

本年度会長テーマ
「ロータリーの心で周囲を包もう」

2010年5月27日 第1959回例会

◆ 会長時間 ◆

中村(哲)会長



ロータリーの友・5月号25頁の家族に知らせたいROTARY欄に「いのちを守る水」の記事が記載されていました。

「友」編集長の二神典子さんの投稿記事です。日本に住む

私たちは、蛇口をひねるといつでもきれいな水を手に入れることができます。これがごく当たり前のことと考えていますが、世界の中には、何キロも歩いて飲み水をくみにいかなければならない人たちがいます。重労働ですが、女性や子供たちがその役割を担っていることが多いのです。水くみのために学校に行くことができず、読み書きや基本的な計算ができない子供たちもいます。そのために、大人になってもまともな職業に就くことができず、結果、貧困から逃れることができないという悪循環も起っています。ヒ素などに汚染された水、排泄物等により汚染された水、世界保健機構の推定では、全世界の疾病の10%は、水の供給、衛生、水資源管理を改善することで予防できるとされているそうです。我々の想像を超える世界の話のように聞こえますが、世界中のロータリークラブは、この状況を改善すべく努力を重ねています。

さて、昨年7月30日に開催しました臨時理事会で情報化推進委員会の設置を決議いたしました。諏訪昭浩会員に委員長をお願いし、主として当クラブのホームページのリニューアルについて検討して頂きました。今日は、諏訪委員長からホームページの活用方法について説明がありますし、次年度、会報雑誌・広報委員会からアンケートの記入依頼がありますので、対応についてよろしくお願いいたします。

● 会務報告

森信幹事

※インターシティ・ミーティング報告書(DVD)が届きましたので、BOXに配布しております。

● 委員会報告

出席報告 武田委員

本 日 (5月27日・木曜日)

会員数	86名	出席者	67名
欠席者	19名	ご来客	2名
ご来賓	0名	ゲスト	1名
		計	70名

前々回(5月13日・木曜日)

出席率 100%



※国際交流委員会

原委員長

青少年交換受入学生送別会、09-10年度派遣学生帰国報告・10-11年度派遣学生壮行会のご案内

※次年度金本幹事

例会終了後、4階「カメリア」において次年度クラブ協議会を開催いたしますので、メンバーは出席願います。

区ご入会記念月おめでとうございます。

(10名)

尾鍋君 (S47年)	刀禰君 (S59年)
岡野君 (S59年)	田中君 (H5年)
沖君 (H14年)	前橋君 (H17年)
米山君 (H17年)	鈴木君 (H20年)
村上(昇)君 (H21年)	成瀬君 (H21年)

創業月おめでとうございます。

(10名)

安部君	税理士法人安部事務所
松岡君	株松岡製作所
森信君	森信建設株
渋谷君	株シブヤ
大西君	広島菱重興産株
上田君	上田昆布株
中丸君	安芸製紙株
原君	株やしき
武田君	広島ガスリビング株
成瀬君	住友生命保険(相)広島総支店

冠4月決算月おめでとうございます。

(5名)

山木君	株LAT
田中君	田中化工機工業株
中田君	丸中石油株
荒谷君	荒谷建設コンサルタント株
田戸君	株京屋仏壇店



奥様お誕生日おめでとうございます。

(6名)

原君	せいか夫人(3日)
平川君	浩子夫人(5日)
簗君	智子夫人(8日)
村上君	緑夫人(11日)
中村(秀)君	桂子夫人(12日)
中野君	富貴子夫人(14日)

卓話



新しいクラブ ホームページの 積極的な活用

情報化推進特別委員会

委員長 諏訪 昭浩

既にお知らせしているとおり、「情報化推進委員会」は今年度初めから当クラブのホームページの改善に取り組み、新しいホームページを立ち上げました(<http://www.hwrc.jp/>)。新しいホームページの目的は以下の通りです。

1. 対外的な広報のツールとして当クラブの活動を紹介してクラブの知名度と理解の向上を図る。
2. 急速に進みつつある情報の電子化に対応し、文章、画像など、クラブ活動に関するできるだけ多くの情報を電子化して保存する。
3. 会員に対し目的に応じた情報をタイムリーに提供する。
4. ロータリー一般、クラブ管理運営に関する包括的かつ詳細な情報を効果的に公開し、ロータリアンがロータリーについて学習したり参照したりするツールを提供する。
5. 「会員専用ページ」により会員のクラブ活動の活性化を図る。

具体的な機能および使い方については本日配布する資料「新しいホームページの機能と使い方」をご参照ください。尚、本資料は「会員ページ」最初にある「お知らせ」に掲載しておりますのでご利用ください。また、週報の見方をわかりやすく説明したビデオをホームページに掲載する予定です。

そもそもホームページプロジェクトが発足した要因として、現在起こっている「電子化」という流れに対し当クラブとしても対応せざるを得なくなったという事情があります。具体的には、たとえば写真はほとんどがデジタル化されビデオさえも当たり前となっており、これらの情報を整理して

公開し保存することが求められています。印刷物での保存は大変です。大変な勢いで増えていき、その分類整理には特殊能力が要求され、中には失われるものもあります。現に写真などは十分に整理されている状況ではありません。また、会員に様々な情報を提供する上で、もともとの情報がどんどん電子化されており、これを最も効率よく提供する方法を考えるとホームページに行き着くわけです。長年「エコ」に取り組んできたクラブとして紙の使用を抑えることは真剣に取り組む価値のある問題だと思いますし、後で次年度の会報雑誌・広報委員長の加藤会員が話されると思いますが、工夫次第で大幅なコスト削減が達成できます。

大切な事ですが、ホームページをリニューアルし、その積極的な活用を会員の皆様をお願いしてはありますが、すべて電子化するという話ではありません。会員の中にはインターネット環境にない方もたくさんいらっしゃいますから、インターネット環境にない会員には従来通り紙で情報を配布するのは当たり前です。各会員の事情に即した対応を行い会員全員が無理なく活動できる環境を継続することが第一条件です。今回のホームページリニューアルはクラブの電子化に対する取り組みの出発点に過ぎません。これを機に、まずは対応可能な会員の皆様にエコおよび経費削減のために最大限のご協力をいただきたい、これが今回の趣旨です。ご協力よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、委員長長の暴走に優しくお付き合いくださった「情報化推進特別委員会」の委員である、大西、沖、新原、田中、土井、中丸、森信各会員に心から御礼申し上げます。

~~~~~

次年度会報雑誌・広報委員会  
委員長 **加藤 博基**

次年度、会報雑誌・広報委員会の委員長を仰せつかっております加藤です。

例会の貴重な時間、しかも時間延長までさせていただき誠に申しわけありません。

実は次年度田中会長より会報の発行の形式に関してコスト削減を前提に考えなさい、という御題を

頂きました。そのことで実は今日は皆さんに相談にのっていただきたく出て参りました。冒頭にお伝えしておきますが田中次年度会長からは『尚、インターネット環境にない方々には特段の配慮をしたうえで』という言葉もいただいております。なんとなくインターネット云々と聞いただけで拒否反応を示される方もおいででしょうが、新年度まで1ヶ月を切ろうとしているのになかなか形式が決まらず、苦悩の思いですので是非私に知恵をお貸しください。

さて会報に関しては、色々なお方の話を聞けば聞くほど、西RCの伝統とプライドがあり、またこれまで担当された方々も全てテープ起こしをしたりと、誇りと気概を持って任務を全うされたような事を聞いております。また会報の大きさをB5から現在のA4に変える時も、会員の皆さんの会報への思いの大きさから大変だったように聞いております。入会以来3年間他クラブの会報も取り寄せをしておりますが、西RCの会報の内容はとても充実しており、特に例会に欠席しても次週それを読めば概ね様子がわかります。これまでの先人たちの積み重ねがこのような無二の形を生んだのであらうと心より敬服しております。

そんな中委員会で様々な協議を致しました。制作元のSANYOKOUKOKUさんとも随分話しました。

またこれまでのアンケートを紐解き色々と勉強しました。また合同幹事会の資料も取りよせ、広島その他クラブの会報に関する経費も調べました。以前のアンケートには月報にしたらコスト削減となるのでは、とかのご意見もありましたが実は週報と大して変わらなく削減幅がとても小さい事が解りました、またロータリーの書物を見ても基本週報ですよ、となっております。内容を簡素化しては、という意見もあったようですが、委員会として前述のように大変良い内容である事から委員会として内容の簡素化に関しては行うべきではない、と考えました。また何度となくこの会報に関する議論をしてきたのであるが、どこかで思い切ってやってみないと何も始まらない、という意見もありました。

現在の費用的には、最初の1枚に書いてあります

現状説明にあるように260万円です。

但し、外部配布に関しては現在検討中です。

ではどうしてコストを下げるか？現在考えている方法はインターネット環境にない会員の方々用に事務局でプリンター印刷をする方法があります。決してペーパーレス化ではありません。インターネット環境にある方々はネット及びメールで配信させていただく。（因みに西南RC65名中、25名メール）

みんなのためになるかどうか？という4つのテストに則って考えると間違いなくみんなのためになる事なのです。しかしながら、みんな少しずつ我慢しましょうね。インターネットが出来る方々はネット及びメール配信で我慢して、またネット環境にない人は紙で差し上げますよ、その代わり少し紙質が変わりますよ。今皆さんのテーブルに見本として配布（5月13日の週報）しておりますがそのようになります。今日は都合上、A-4ばかりですが、形はこれまで通りA-3です。

皆が少しずつ我慢をすれば人きなコスト削減が出来ると思います。

ですから、今日は会報に関する現状と共通認識を持っておきたいということと、じゃあ具体的にどのくらいの会員の方が、ネット若しくはメールでの配信でお願い出来るかというアンケートで、その人数によってはネット閲覧及びメール配信とするということをご理解ください。

何かご質問があれば受付けます。ご遠慮なく…私が答弁出来ない事は次年度会長がお答えします。

出口に表彰のお盆が出してあります。その中にアンケート用紙を入れて下さい。集計結果、及び会報の形式の決定については、次回又は次々回の例会の委員会報告でさせていただきます。

## ■ロータリー情報

### ポール・ハリス：最初で最初でない会長

ポール・ハリスはロータリー・クラブの初代会長だったか。ノー。

ポール・ハリスは国際ロータリーの初代会長だったか。イエス。

この一見して矛盾とも思える言い方は、容易に説明が付きまします。ポール・ハリスは1905年にシカゴで最初のロータリー・クラブを組織した創立者でしたが、その最初のクラブ会長に選ばれたのは、このクラブのもう一人の創立会員、シルベスター・シールだったのです。

1910年までに16のロータリー・クラブが結成され、これらが「全米ロータリー・クラブ連合会」と称する団体を発足しました。2年後、この名称は、クラブがカナダ、英国、アイルランド、スコットランドにも結成されたことを受けて、「ロータリー・クラブ国際連合会」に変更されました。1922年になって、この名称は「国際ロータリー」に短縮されました。

1910年にロータリー・クラブから成る最初の組織が創設された時に、その初代会長に選出されたのがポール・ハリスでした。彼は、1910年から1912年までの2年間、会長を務めました。そういうわけで、ロータリー精神の提唱者で、その最初に生まれたロータリー・クラブの会長になるのを辞退したこの人物が、国際的な組織に発展した国際ロータリーの初代会長となったのです。

クリフォード L. ダクターマン著  
「ロータリーのいろは」より抜粋

